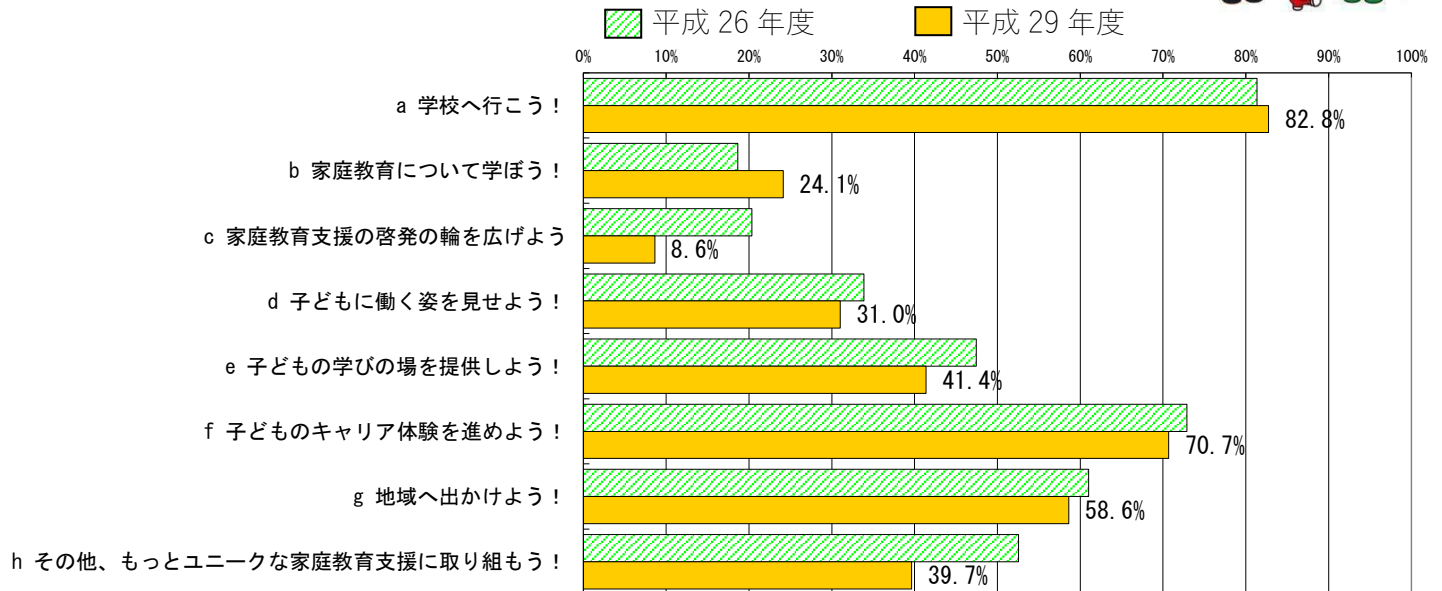


「えひめ家庭教育サポート企業連携事業」協定に基づく 取組状況調査の集計結果

平成 29 年度の取組状況調査の集計結果を掲載します。
(H29 協定締結企業数 69 社 本調査回答企業数 58 社 回収率 84.1%)

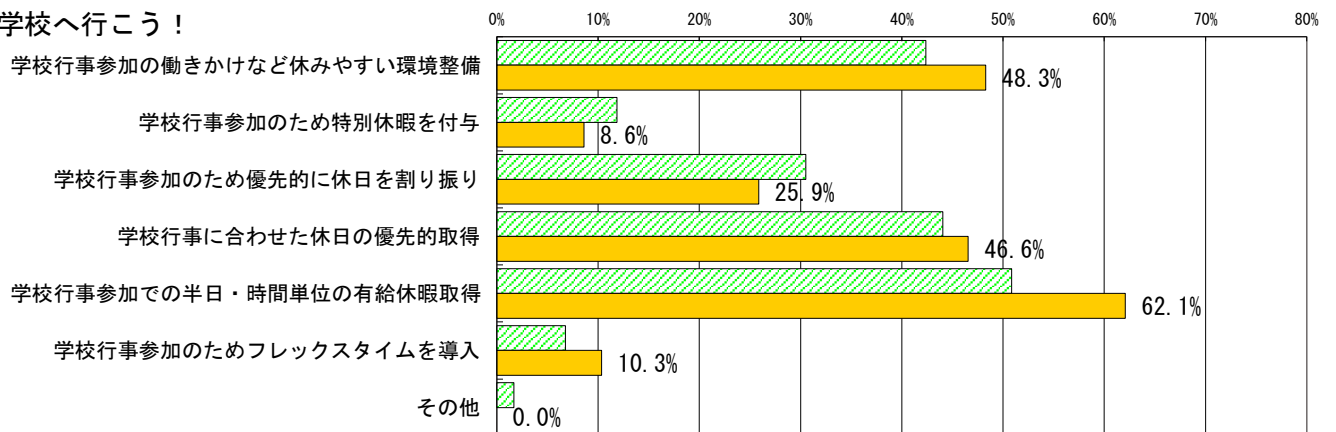


1 平成 26・29 年度のプログラム別実施状況

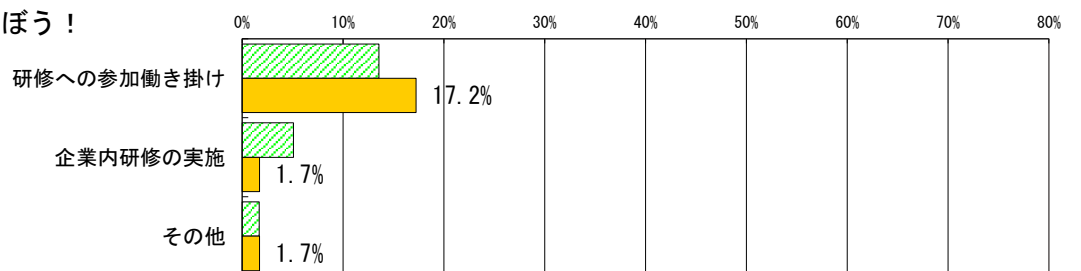


2 平成 26・29 年具体的取組内容別実施状況

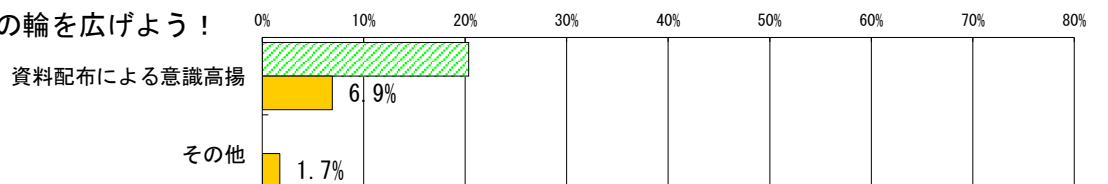
a 学校へ行こう！



b 家庭教育について学ぼう！



c 家庭教育支援の啓発の輪を広げよう！

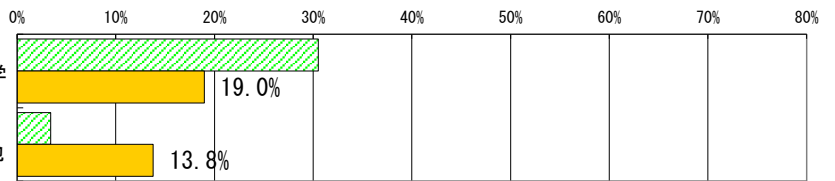


d 子どもに働く姿を見せよう！



従業員の家族を対象とした会社見学

その他



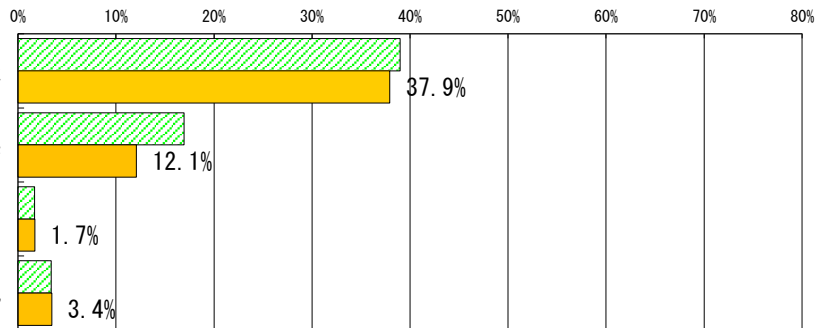
e 子どもの学びの場を提供しよう！

イベントやコンクールの開催

体験・学習の場の提供

「子育て応援図書貸出事業」の利用

その他

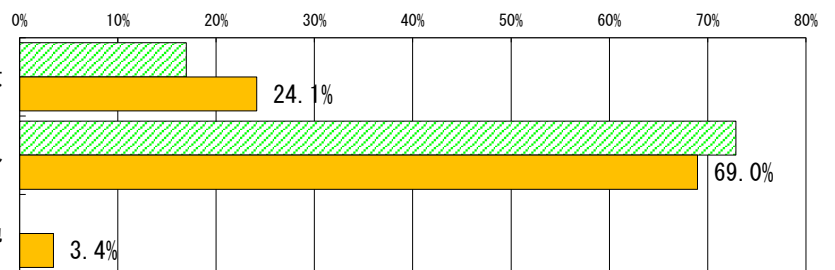


f 子どものキャリア体験を進めよう！

子どもたちのための自社施設の開放

職場体験やインターンシップの受け入れ

その他

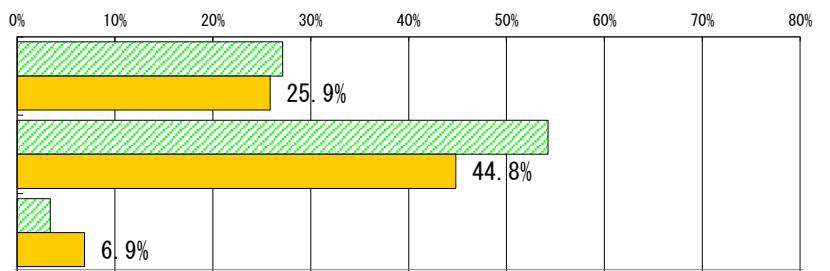


g 地域へ出かけよう！

地域や学校での出前講座

地域の清掃活動への参加

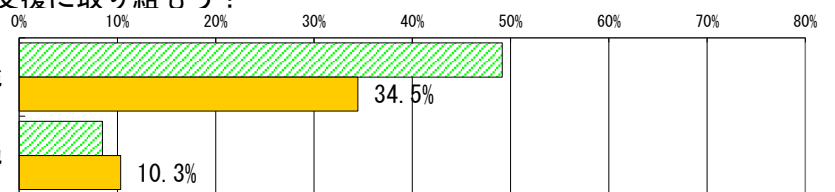
その他



h その他、もっとユニークな家庭教育支援に取り組もう！

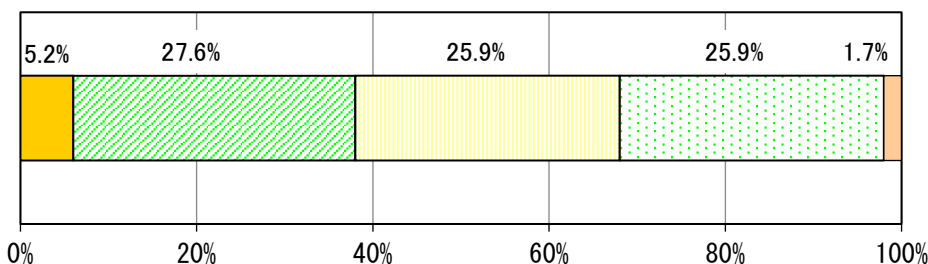
レクリエーションや旅行の実施

その他



3 取組状況及び今後の取組

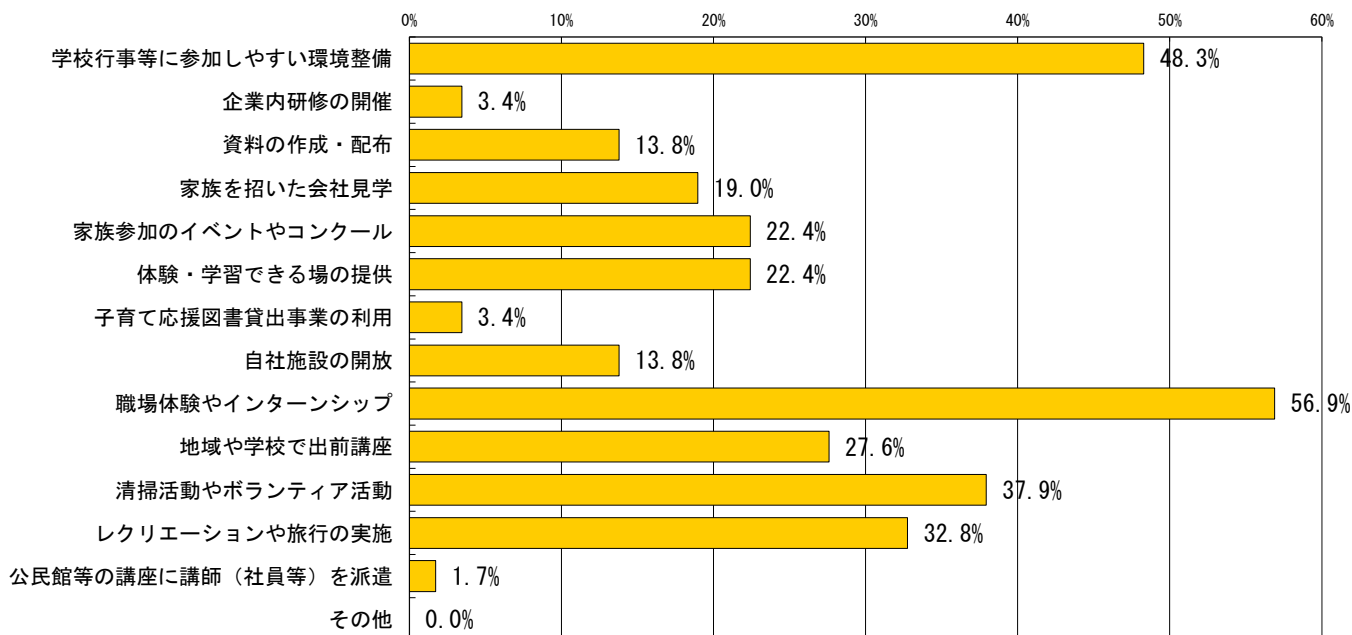
(1) 平成 29 年度家庭教育支援取組状況



- 取り組んでいると思う
- だいたい取り組んでいる
- 新たな取組や工夫が必要
- あまり取組が進んでいない
- その他



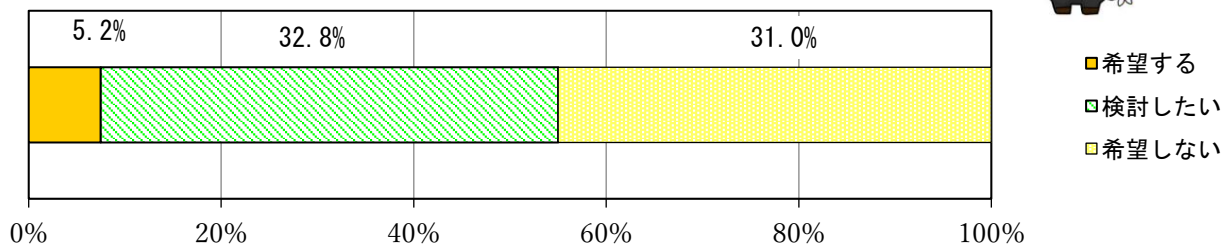
(2) 今後、家庭教育支援について取り組もうと考えていること



(3) 家庭教育支援を推進していく上での課題や悩みについて

- 人手不足、余裕がない。
- 社内の部署が多く、集約しにくい。
- 職場見学や職場体験については、顧客の重要情報を扱うため、実施できる範囲が限られる。
- 家庭環境が様々なので、一律な情報提供では改善につながらない。
- 繁忙期における学校行事への参加。
- 少人数事業所で有資格者が必要な業態でのシフト調整。
- 自社施設の開放をどのような形で開放するのか。
- 学校や地域行事への参加のための休日は取りやすくなっているが、独身社員とのバランスを取っていくのが難しくなる。
- 自社の持つ ICT 関連機器を活用して、配信やコミュニティを提供するためのコンテンツづくり。
- 社員へ案内する資料が少ない。
- 全社員関われるシステムの構築。
- 他企業の実績や現状をもっと情報収集したい。

(4) 家庭教育企業内研修の講師（県職員）派遣の希望について



いただきました御意見等をもとに、今後の家庭教育支援の取組の充実に向けて活用させていただきます。御協力、ありがとうございました。

